

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2016年 8月

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙取
【発行所】
名取市内
【部数】
11,000部
【電話】
022(280)2391



蒸しかまどで、ご飯を炊きました



餅つき体験

仙台いぐね研究会の梅津登伍(とうづ)さんは、「今回も子どもたちが主体となり、楽しみながら学ぶ姿が印象的だった」と話します。秋には米の収穫を体験する「秋のいぐねの学校」が開かれる予定です。

(梅津登伍)



生き物調査

昔ながらの生活を体験 洞口家住宅 いぐねの学校開催

環境学習の体験イベント「いぐねの学校」が7月31日、名取市の洞口家住宅で開かれ、名取市内外の小学生44名が参加しました。

今年で16回を迎える本イベントは宮城教育大学の小金澤研究室(仙台いぐね研究会)が主催。名取市や仙台市の小学生が国の重要文化財でもある洞口家住宅

「いぐねの学校」が7月31日、名取市の洞口家住宅で開かれ、名取市内外の小学生44名が参加しました。

リカレンジャー登場！ 親子がティキャンフと科学実験満喫

那智が丘

ティキャンフと親子実験教室が8月6日、那智が丘小学校で開催されました。イベントには那智が丘の生徒と保護者が参加。暑い中、レジャー作りやジャガイモ掘りなどで、キャン

プを楽しみました。親子実験教室には、仙台高専名取の先生と学生6人

が移動実験車「リカレンジャー」と登場。科学実験の面白さを広める活動の場として、開いている学生らは、ドライアイスを使ってアイスを一瞬で作る方法や、液体窒素で葉っぱやティンポルなどを凍らせたり、ドライアイスに圧力を加えると、個体が一瞬で液体になる実験



ジャガイモ掘りを体験しました



ドライアイスを使った実験をする小山さん

今回の実験教室について、仙台高専5年生の小山竜平さん(20)は、「全体的に参加してくれた児童の年齢が低く、危険な物質を使うのだけなど心配したが、大きな事故もなく、元気に参加してくれたことが一番良かった」と話しました。リカレンジャーは、8月25日に松島児童館で移動実験教室を開催する予定です。また、11月に行われる仙台高専名取の高専祭でも実験教室が開催されます。

(青田汐里)

親子もグループに分かれ、学生らの指導の下、実験を楽しみました。参加した保護者は、「15年も参加したが、昨年とはまた違う楽しさがある。親子も子供も楽しめた。また来年も参加したい」と話していました。